

IMDSニュースレター66号

2025年12月12日 - 第2号/2025 (c) IMDSステアリングコミッティ



INTERNATIONAL
MATERIAL DATA
SYSTEM

このIMDSニュースレターには、次の記事が掲載されています:

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. IMDSリリース15.2は2026年1月21日に本番リリース予定 | 1ページ |
| 2. IMDS関連テーマのワーキンググループ | 1ページ |
| 3. 2025年10月のAIAGイベント | 4ページ |
| 4. ユーザーの声 - IMDS に寄せられたEメールの紹介 | 5ページ |

**Merry Christmas and a
Happy New Year 2026!**



1. IMDSリリース15.2は2026年1月21日に本番リリース予定

[このリリース](#)での機能拡張は以下のとおりです。

機能的な変更

1. BPR規制におけるセラミックス / ガラスの免除 – 材料分類 7.2 が BPR 情報入力の対象外となりました。
2. GADSL / SVHC 物質に対して「残部」含有率の設定はできない – SVHC 候補リストに掲載されている物質、またはGADSL で禁止物質・要申告物質としてマークされている物質については、含有率として「残部」を選択できなくなりました。
3. データシート検索にて最新ステータス変更日を表示 – すべての IMDS 検索画面に「最新ステータス変更日」列が追加されました。

チェックの変更

チェック成功時のメッセージの更新 – この変更により、IMDS でチェックが成功しても、すべての適用要件に自動的に適合しているわけではないことがより明確に示されます。

2. IMDS関連テーマのワーキンググループ

IMDSワーキンググループは、自動車サプライチェーン全体における材料報告およびコンプライアンス報告の改善と効率化を継続して進めています。

ワーキンググループの成果は、IMDSへの実装に向けた要件の見直しとして反映され、今後のIMDSステアリングコミッティによるリリース計画の基礎となります。

2025年および2026年のIMDSの優先改善事項は、規制要件との整合に重点を置いています。いくつかの規制はまだ最終承認待ちではありますが、将来的なコンプライアンスを確保するため、関連データの収集はすでに必要となっています。法的要件やその相互参照が複雑であるにもかかわらず、IMDSワーキンググループは可能な限りサプライチェーンへの負担を軽減するよう取り組んでいます。

もう一つの重要な焦点は、AIAG、CLEPA、JAPIA のサプライヤー代表から提出された改善提案です。これらの提案は、例えば非アクティブ企業が作成したエントリに対して必要となるデータシート更新など、IMDSで現在発生している課題の解決を目的としています。

将来のIMDSにおけるコンプライアンス報告向けの改善は、必要に応じて以下の3つのIMDS報告プロセスのいずれかに分類される予定です。

IMDS Reporting Processes



以下のワーキンググループのテーマは、自動車サプライチェーン全体の報告に最適なソリューションとしてIMDSに新しい要件を導入するというIMDSステアリングコミッティの取り組みを、より詳細に示すものです。また、改善内容の明確化および最終化に向けて、サプライヤー代表者との協働による継続的なIMDS改善の取り組みも反映しています。

ワーキンググループ – データシート更新の迅速化

材料メーカーからサプライチェーンのトップにいる自動車メーカーへ、最新のIMDS情報を確実に届けることは、以前から継続的な課題であり、改善に取り組んでいる点です。サプライチェーンのどこか一社でも更新を見落とし、顧客向けのデータシートを更新し忘れてしまうと、ユーザーは誤ったレベルのIMDS情報に基づいて作業を行うことになります。データシート更新の迅速化を目的としたワーキンググループでは、データフローを簡素化し、サプライチェーンがより容易にデータを更新できるようにするための改善策を検討しています。

現在検討している改善点の一部は以下のとおりです：

- 材料規格(Norms and Standards)を「Enhanced Reporting Model(拡張報告モデル)」へ移行すること。これにより、材料メーカーが規格情報を動的に更新できるようになり、必要な情報が欠落していることを理由にIMDS データが拒否される必要がなくなります。
- 「サプライヤー責任の終了(End of Supplier Responsibility)」の識別 - サプライヤーが倒産している場合、サプライチェーン自体がすでに存在しない場合、または部品が「all-time buy(全期間分の一括購入)」の対象となっている場合など、IMDS の更新が不可能となる例がいくつかあります。このワーキンググループでは、そのような企業をIMDS 上で識別し、該当部品について最新のIMDS 情報を取得できないことをサプライチェーン全体に認識してもらうための方法を検討しています。
- 複数の 材料データシートの部品番号。IMDSに登録される材料は、すべてのユーザーに適用される一つの有効バージョンのみとすべきです。顧客ごとの個別要求に対応するために、複数のバージョンを作成すべきではありません。材料サプライヤーによると、一部の顧客は自社専用の部品番号を材料に追加することを強く求めており、そのため材料サプライヤーは新しい材料バージョンを作成せざるを得ず、問題となっています。私たちは、材料のバージョンを増やさなくても情報を更新できる方法を検討しています。

このワーキンググループ(WG)は現在、実装におけるサプライチェーン上の課題を解決するために取り組む、OEM とサプライヤー団体の協働体制となっています。今後のアップデートにご注目ください！

ワーキンググループ「リサイクル含有率」

IMDSでは、リサイクル含有率の報告はすでに数年前から可能であり実施されていますが、自動車サプライチェーンにおいて急速に重要なコンプライアンス要素となっています。EUの規制である Critical Raw Materials Act (CRMA)やEU Battery Regulation (EUBR)では、2027/2028 年に化学物質レベルでのリサイクル含有率が法的要件になります。さらに今後、End-of-Life Vehicle Regulation (ELVR) により、その重要性はさらに高まり、特にプラスチック・鉄鋼・アルミニウムに焦点が当てられます。

OEMおよびサプライヤーは、リサイクル含有率の拡大に向けて、正確でタイムリーなデータを必要としており、これによりコンプライアンス確保や予期せぬ問題の回避が可能となります。

主要な関係者を代表するため、このWGには、OEM、サプライヤーアライアンス(AIAG, CLEPA, JAPIA)、さらにEUの化学・プラスチック・アルミニウム・鉄鋼の業界団体が参加しています。

効率的な改訂作業を行うために目指す点：

- ・ 既存データシートの更新を迅速化し、動的な報告を可能にすること
- ・ データ収集および検証における遅延やボトルネックの最小化
- ・ スピードと正確性のバランスを取りつつ、製品コンプライアンスを確保すること

重要な影響および留意点：

- ・ 新たに策定されつつある規制(例：クローズド/オープンループのリサイクル含有率報告)に整合するように、既存のIMDS機能を見直すこと
- ・ 標準公開材料の取り扱いが変更される可能性があり、材料メーカーが適切に報告できるようにすること
- ・ 期限内の更新を確実にするため、あらゆる阻害要因を減らすこと
- ・ 既存のリサイクル含有率データへの影響を考慮すること
- ・ コンプライアンスリスクを避けるために、すべての関係者に明確なトリガーと通知を提供すること

ワーキンググループ「RoHS」

Heavy Duty Commercial Vehicle(HDCV)OEM のメンバーで構成されるこのワーキンググループは、最初に材料データシートでEU RoHS(2011/65/EU)に基づく物質制限への適合性を文書化するための措置を実装するためのビジネス要件の定義に取り組んでいます。一般的に、自動車・トラック・バスはEU RoHSの適用除外ですが、HDCV OEMがパワーソリューションを提供する一部の機械類は除外されません。IMDS で EU RoHS 物質制限への適合性を文書化できるようになることで、その他の電気・電子機器(EEE)メーカーも IMDS を利用できるようになり、サプライヤーはすべての顧客に対して 1つの材料報告システム を使用するだけで済むため、負担軽減にもつながります。さらに、現在EU RoHSの適用除外範囲に大きな変更が発生しているため、これまで可能だったELV規制の同様の適用除外との単純な対応付けは、RoHS適合性の文書化には間もなく適さなくなります。現時点では、EEEのカテゴリごとに制限物質の適用除外の包括的なリストを作成しており、Regulation Wizardを使用して、割り当てられたRoHSの適用除外を、(要求に応じて)サプライチェーンを通じて最下層のコンポーネント所有企業に伝達することを提案しています。また、データがどのように見えるかを示す簡単なモックアップもこれまでに作成済みです。他のワーキンググループと同様に、自動車およびその他の産業向けに E/E(電気・電子)製品を提供している IMDS サプライヤー代表にも、できる限り参加してもらう予定です。

ワーキンググループ「標準部品名称およびAI拡張」

IMDSステアリングコミティは、AIを活用した標準部品名称の開発を目的としたワーキンググループの発足をお知らせできることを大変嬉しく思います。

この取り組みは、グローバルなサプライチェーン全体で、IMDS報告の一貫性、明確性、効率性を向上させることを目的としています。ワーキンググループでは、統一された標準部品名称のセットを定義し、AIが高品質のデータシートを学習できるよう提供することで、認識精度の向上および報告の正確性向上につなげます。

今回の拡張により、IMDS内に新たな項目が追加され、ユーザーは従来どおり製品説明を入力しながら、AIによる標準化の恩恵も同時に受けることができるようになります。

作業が進展次第、さらなる詳細を共有いたします。また、このイニシアチブの内容は開発の進行に伴い変更される可能性がある点にご留意ください。

3. 2025年10月のAIAGイベント

2025年10月8日から10日にかけて、毎年開催される AIAG ハイブリッド IMDS・製品コンプライアンス・サステナビリティ会議が、米国ミシガン州ノバイで開催されました。

この2日間で、世界各国からの多数の登壇者により、さまざまなテーマが取り上げられました。以下のリストはすべてを網羅するものではありませんが、発表されたテーマの一部を含んでいます。



- DPP/EUBR バッテリーパスポートおよびその他の法的要求事項に対応するための IMDS の変更点
- IMDS 使用条件 – サプライヤーが提供したデータを顧客がどのように使用できるか
- IMDS PCF 導入から IMDS027 PCF レコメンデーションへの移行
- IMDS サービスデスクが提供する主なヘルプデスクエスカレーション/顧客からの拒否理由のレビュー
- CLEPA による現在の取り組みの概要
- 電気自動車のバッテリー生産における、Critical Raw Materialsの持続可能な調達およびモニタリングのためのツールとしてのデジタルプロダクトパスポート
- 次回の主なIMDS拡張内容の紹介

ご覧のとおり、非常に多岐にわたるトピックが扱われており、このようなイベントへの参加が強く推奨されます。自動車業界のサプライヤーコミュニティにとって、今後の拡張内容に関する展望だけでなく、有益な情報を得る手段でもあるためです。

4. ユーザーの声 - IMDS に寄せられたEメールの紹介

ここ数か月の間に、できるだけ早く解決したい問題に直面しています。データシートに対して多くの「警告」が出ているようで、これを回避したいと考えています。私たちはめっき工場、これまで常に2つの材料を使用してきました：鋼材と表面処理—すなわちめっきです。これらはどちらも、1つの材料データシートの中で参照しています。なぜこれらのデータシートに対して警告が出るのでしょうか？ ご教示ください。よろしくお願いします。



IMDSユーザー様、

[FAQ にも同様の質問と回答が掲載されています。](#)

IMDSにおける均質材料の考え方について - 均質材料とは何ですか？

IMDS では、すべての均質材を個別の材料として記述する必要があります。「均質材料」とは、機械的に2種類以上の異なる材料に分離できない、一貫した材料組成をもつ材料のことです。ここでの「機械的分離」とは、切断、トリミング、研磨などによって材料を分けることが一般的に可能であることを意味します。均質材の例として、プラスチック、金属、合金、コーティングなどが挙げられます。

多重コーティングされたねじを例に説明できます。

各層はそれぞれ独立した「均質材料」として定義されます。つまり、金属本体に亜鉛合金でコーティング、その上にパッシベーション層、さらにトップコートが施されたねじには、金属本体と3つのコーティング層、合わせて4つの均質材料が存在することになります。

めっき処理された材料は均質材料ではなく、複数の材料が付随するセミコンポーネントまたはコンポーネントとして表現する必要があります。

ご質問の回答になっていれば幸いです。

よろしくお願いいたします。

IMDSニュースレターチーム

ご意見・ご感想

本ニュースレターへのフィードバックをお待ちしております。IMDSやIMDSを取り巻く環境に関する問題等のご意見やご感想がありましたら、お気軽にEメールにてご連絡下さい。また、ご意見やさらなる情報提供のリクエスト、ご質問等につきましては、imds-newsletter@dx.comまでご連絡ください。

5. 自動車メーカーの連絡先

Anadolu ISUZU

Otomotiv	E. Sener	e. Volution GmbH	T. Bender
Aston Martin Lagonda	D. Walker	Faraday Future	G. Lewis
BMW	B. Stein-Schaller	FAW-VW	Aiming Li
Canoo	Craig Howard	Ferrari	Ferrari IMDS Coord.
DAF Trucks	DAF IMDS Coordinator	Fisker Inc	C. Munoz
Daihatsu	Daihatsu IMDS Coordinator	Ford	S. Riewer
		GAC Honda	H. Yinbin
Daimler Truck AG	DTAG IMDS Admin	General Motors	Kirankumar Jagatap
Dongfeng Honda	Shao Linlin	GM India	Kirankumar Jagatap
e.GO	e.GO Homologations	GM Korea	Hyunkyung Kim
		Hino	HN-Gikan Peis

5. 自動車メーカーの連絡先

Honda	Honda IMDS Coord.	SAIC	Yusong He
Honda-Sundiro	Akira Iwatake	SAIC GM	Guanghong Xia
Hyundai Motor & KIA	Hye-Young Park	SAIC Volkswagen	Shen Jian
INEOS	INEOS IMDS Coord.	Scania	Frank Schlüter
Isuzu	Isuzu IMDS Coord.	Smart	James Liu
IVECO Group	K. Zardo	Ssangyong	Kyoung Soo Kim
Jaguar Land Rover	M. Griffin	Motor Company	
JSV AVTOVAZ	O. Demicheva	Stellantis - FCA US LLC.	Stellantis US Coord.
Karma	K. Shah	Stellantis - Fiat	Stellantis Fiat Coord.
Koenigsegg	H. Fracassi	Stellantis - PSA	Stellantis PSA Coord.
KTM	Wan-Ting Hsiao	StreetScooter	IMDS Coordinator
Kubota	Kubota Corp. Quality Ass. Promotion Dpt.	Engineering SUBARU Corp.	SUBARU IMDS Coordinator
LEVC - London EV Comp.	IMDS System Engineer		
Lucid	K. Shah	Suzuki	Suzuki IMDS Coord.
Mahindra&Mahindra Ltd.	Ishant Kaushal	Tata Motors	D. Chandran
Maruti Suzuki India Ltd.	MSIL IMDS Team	Tensor Auto Inc.	Tensor IMDS Coord.
Mazda	Mazda IMDS Support	Tesla Motors	Tesla IMDS Group
Mercedes-Benz AG	A. Engelmann-Müller	Togg	Togg IMDS Coord.
Mitsubishi	Mitsubishi IMDS Coordinator	Toyota	I. Schoukens
Nissan	Y. Bito	TVS Motor	Arun N.
Opel Automobile GmbH	D. Lungershausen	UD Trucks	K. Kuwahara
Peugeot Motocycles	Y. Boukhelifa	Vinfast LLC	Vinfast IMDS
Polestar	IMDS Coordinator	Volkswagen	VW IMDS Coordinator
Porsche	M. Weck	Volkswagen Group of America, Inc.	IMDS Coordinator
PSA Group	PSA IMDS Coordinator	Volkswagen (Anhui) Automotive Company Ltd.	J. Zhang
PT Astra Honda Motor	H. Diansyah	Volkswagen Group (China)	
Renault	Renault IMDS Coordinator	Technology Company Ltd.	VCTC IMDS Team
Renault Samsung	Renault Samsung IMDS Coordinator	Volta Trucks Ltd.	Volta Tr. IMDS Coord.
Rivian Automotive, LLC	Rivian IMDS Coord.	Volvo Car Corporation	IMDS Coordinator
Royal Enfield	Regulatory Compliance Coordinator	Volvo Group	P. Barve
		Wuyang-	Wuyang-Honda
		Honda Motors	IMDS Coordinator
		Zoox	Zoox IMDS Coord.

編集

このIMDSニュースレターの内容は、DXC傘下のEntServ Deutschland GmbHのDr. Ilona HerrmannがIMDSステアリングコミッティに代わって収集したものです。

IMDSサービスセンターサポート

Japanese Service Center - jpimds-helpdesk@dxcc.com

Monday through Friday, 9 a.m. to 5.00 p.m. JST (GMT+9) at +81 3 4530 9270

IMDS Global Service Center supporting English language - imds-servicedesk@dxcc.com

Monday through Friday, 8 am to 12 pm CET (UTC-6)

Monday through Friday, 1 am to 5 pm CST (UTC+1)

phone: (+33) 1 57 32 4856 or (+36) 1 778 9821 or (+1) 844 650 4217

Chinese Service Center - imds-helpdesk-china@dxcc.com

Monday through Friday, 9:30 a.m. to 12:30 a.m. and 1:30 p.m. to 5 p.m. BST (GMT+8)

Korean Service Center - imdsk-helpdesk@dxcc.com

Monday through Friday, 9 a.m. to 5.00 p.m. Seoul (GMT+9) at +82 2 6138 3661

French-, German-, Italian- and Portuguese-speaking European Service Center - imds-servicedesk@dxcc.com

Monday through Friday, 8 a.m. to 4.30 p.m. (GMT+1) at +33 1 57 32 4856 (Italian and Portuguese support only by email)